

3歳児健康診査で視覚検査を導入しました ～子どもの弱視を見逃さないために～

子どもの目の発達

子どもの視力は、3歳頃までに急速に発達し、6歳から8歳頃には大人とほぼ同じくらいになります。目の発達の重要な時期に、目の病気・異常・怪我などにより「物をくっきり見る」ことが妨げられると、弱視（視力の発達の遅れ）となることがあります。

弱視とは

弱視とは、眼鏡やコンタクトレンズを使用しても視力が上がらない目のことをいいます。

- （原因）近視・遠視・乱視などの屈折異常や斜視、生まれつきの白内障など
- （症状）視力の低下、遠くの文字がぼやける、二重に見える、距離の間隔が正確でなくなる

弱視の子どもの数は約50人に1人程度いるとされています。視力の発達する期間にはタイムリミットがあるため、年齢が大きくなってから治療を始めても視力が上がりにくいことがあります。そのため、発達途中である3歳児での視覚検査が重要となります。

視覚検査について

視覚検査では、弱視（視力の発達の遅れ）となる原因（斜視や遠視、近視、乱視など）を見つけることができます。3歳児健康診査では、家庭で行う視力のアンケートに加えて、スポットビジョンスクリーナによる検査を行います。検査は、少し暗くした室内で、キラキラ光る画面を数秒から数十秒間見ることで、視覚異常を発見するものです。
*家庭で行う視力のアンケート結果により、正確な検査結果がわかるため、必ず実施するようにしましょう。

受診の目安

子どもは、見えにくさや目の異常を表現することができません。以下の症状が当てはまる場合は、眼科を受診してください。

- ・絵本やテレビに近づいて見る
- ・ものを見るときに目を細めて見たり、頭を傾けたり、横目で見たりする
- ・黒目が内側に寄る、外・上・ななめ上にずれる

子どもの弱視を見逃さないために、日頃からお子さんの目の状態を確認しておきましょう。3歳児健康診査の対象の方（3歳6か月～8か月児）に、ご案内の通知を郵送していますので、必ず受けるようにしましょう。

【問合せ先】健康増進課 ☎ 029-240-7134（直通）

日曜日	事業名	受付時間
12 木	1歳6か月児健診（時間指定制）	13:00～
18 水	健康相談 3～4か月児育児相談（申込制）	9:00～11:30 9:45～10:00
19 木	2歳児歯科検診	13:00～
24 火	3歳児健診（時間指定制）	12:45～
27 金	ごっくん教室（申込制）	9:45～10:00

※予定が変更になる場合があります。

街角の年金相談センター水戸

年金相談や年金請求などのお手続きが無料でできます。

予約受付専用電話 **0570-05-4890** (ナビダイヤル)

水戸市南町3-4-10 水戸FFセンタービル1階
電話:029(231)6541
水戸駅北口から徒歩15分:「南町3丁目」バス停下車
駐車場は南町3丁目パーキングをご利用ください。

受付時間:月～金曜日(祝日、年末年始を除く)
8時30分～17時15分まで ※月曜日19時まで
お電話による年金相談は受け付けておりません。

日本年金機構から委託を受け全国社会保険労務士会連合会が運営しています。

文芸

《短歌》

○遊歩道の草刈る人が刈り残す百合の白さと女郎花の黄
中島三千代(桜の郷)

●亡き父と相撲中継観てた日よ暑い夏場所素めん食べつつ
河野 久子(網 掛)

●五十年タンスに眠るこの着物いつかは着るかいつかは来ないか
佐藤よし子(谷田部)

義姉が住む町場の中の一軒家
終活助っ人 今日も汗流す
内田 理(長 岡)

朝採りのトマト真っ赤に色づきて口に含めば夏が匂えり
田口すい子(南川又)

藤棚に藤の咲きたる友の庭に花暖簾のごと風に揺れおり
佐久間 勲(前 田)

神様もコロナ終息みさだめて三年たつて祭りを許す
平本 裕男(小 幡)

笑点の次に見るのはちびまる子ちゃん頭をよぎる明日の仕事
萩谷 光保(越 安)

炎天下恵みの雨を待つごとく白菜大根の種蒔きをする
浦井 正子(宮ヶ崎)

四年ぶり花火おみこし街なかか笑顔・歓喜に各地潤う
高見 英子(大 戸)

（評）中島さん「刈られることなく残された百合の花と女郎花。その色の際やかに眼を奪われながらも草を刈る者の優しい計らいに触れた心癒される一首。河野さん「生前のお父さんと楽しんだ相撲中継。猛暑の夏に思い出す素直の涼やかさ。昔は夏場所も「馳走のひとだった。佐藤さん「谷川俊太郎の「いるか」の詩の世界が浮かぶ。言葉遊びの楽しさに、結句の「いつかは来ないか」の重いテーマが巧みに作用する。

《俳句》

○甲子園揺れて震えて夏終わる
高見 英子(大 戸)

●見渡せば畔見渡せば野萱草
内田 理(長 岡)

●任地から老母に届くさくらんぼ
村井 孝子(長 岡)

秋の蟬に背中押されて夕散歩
佐藤よし子(谷田部)

盆来たる花で埋まる墓の辺よ
小堤美智子(小 堤)

心臓の位置定まらぬ熱帯夜
中島三千代(桜の郷)

服を脱げ命も脱げと夏閻魔
白田 美鶴(網 掛)

新米や遠路はるばる宅急便
浦井 正子(宮ヶ崎)

山百合の花香りたる狭庭辺に
佐久間 勲(前 田)

笑顔にて娘はおはようとお上り花
田口 正子(南川又)

（評）高見さん「高校球児にのつての晴れ舞台。球場が一つとなり感嘆にとよめく様と、必死に追いかけた夏が行く一抔の寂しさを詠みきった。内田さん「見渡せば」の初句で、一気に奥行きが広がる。ノカンノウの鮮やかな黄色が点々と灯る一面の青田を描くのに、反復が効果的。村井さん「ふるさとの母へ送られるのは、離れた地からの思いやりだ。子の真心が、「さくらんぼ」というかわいらしい結句で結ばれる。

【作品の送付先】
ハガキ等に3首、3句以内を書いて、住所氏名明記の上、月末までにお送りください。
郵便：〒311-3192
茨城町小堤10080
茨城町秘書広聴課 宛
FAX:029(292)6748
【問合せ先】秘書広聴課
☎029(240)7126(直通)

7月30日(日)

まち歩きワークショップ 「大ホール探検ツアー」を開催

主催：町生涯学習課 共催：（一財）地域創造

今年度解体される、茨城町立中央公民館大ホールを舞台に、新たな「想像力・発想力・インスピレーション」を体験する「まち歩きワークショップ」が開催されました。

当日は、演出家で俳優の有門正太郎さんを講師に迎え、参加者同士でコミュニケーションを取りあうゲームや、同じ写真を見て「猫」「自転車」「カセットテープ」といったように見た人によって見え方が異なることなど想像するワークショップを通して、それぞれの視点や発想の違いを感じることができました。

また、小学1年生から70代まで、幅広い世代の参加者17人とともに、解体される大ホールを探索しました。それぞれが気に入った場所を写真に撮り、印刷して文字やイラストを描き加えていくことで、何もない壁から鳥の絵が描かれたり、消火設備からお弁当ができたりと、思い思いに想像しながら作品づくりを楽しみました。

参加者は、解体される大ホールを「発表会や町民祭でお世話になった場所」や、「今までありがとう」と思い出の場所として振り返るとともに、大ホールの跡地に建設される新たな文化的施設には、「多くの人に利用してもらいたい」、「ぜひ使ってみよう」との声が挙がりました。

